

横浜市が発行する ESG 債（サステナビリティボンド）への投資について

医療法人財団慈啓会は、横浜市が発行する ESG 債（サステナビリティボンド、以下「本債券」）に投資したことをお知らせします。

サステナビリティボンドは、温暖化対策をはじめとする環境問題の解決を目指すグリーン適格プロジェクト並びに衛生・教育・福祉など社会課題の解決を目指すソーシャル適格プロジェクトの両方に充当される債券です。

本債券は、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則 2021」、「ソーシャルボンド原則 2023」、「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」、環境省の「グリーンボンドガイドライン（2022 年版）」および金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン（2021 年版）」に適合している債券である旨、株式会社格付投資情報センターからセカンド・パーティー・オピニオン（SPO）を取得しています。

医療法人財団慈啓会は、本債券をはじめとした ESG 投資を推進し、地域社会や環境との共生の実現に貢献していきます。

【本債券の概要】

銘柄 横浜市第 62 回 5 年公募公債（サステナビリティボンド）
年限 5 年
発行総額 50 億円
発行日 2023 年 12 月 22 日

【充当する分類及び事業内容】

分類	事業内容
グリーン適格プロジェクト	神奈川東部方面線整備、市役所 RE100 推進事業、老朽校舎改修事業、公園整備事業、河川整備、下水道整備
ソーシャル適格プロジェクト	インフラ施設の整備・改修、保育所等整備、特別養護老人ホーム整備、地域ケアプラザ整備、小中学校整備、児童福祉施設整備、障害者支援施設整備